

③「②」で示した項目について、

- ・ 次期第二種特定鳥獣管理計画の改訂作業でその項目について盛り込み・反映させることを検討の対象としているか
- ・ 第二種特定鳥獣管理計画にその項目を反映させることで期待すること
- ・ 貴都府県内でその項目についてすでに取り組んでいる事例の有無と代表地域・概要について回答ください。（該当するものに☑を記入、または□の中の「：」のあとに記述してください。）

管理捕獲（有害・数の調整）での成獣の優先的な捕獲

第二種特定鳥獣管理計画の改訂作業で検討対象としているか

10/34□している ・ 22/34□していない ・ 1/34 未定 ・ 1/34 無回答

検討対象としている場合、第二種特定鳥獣管理計画に書き込むことで期待すること（回答例：成獣と幼銃の報奨金の金額差をつける根拠とする）

- ・ 予察捕獲より早い段階からの捕獲管理が可能となる。
- ・ 捕獲の有効性を広く周知。
- ・ 成獣の優先的な捕獲が意識付け。
- ・ ICT 活用大型囲いわな導入促進

貴都府県内ですでに取り組んでいる事例

7/34□有 ・ 20/34□無 ・ 7/34 無回答

「有」の場合、

- ・ 箱わなのけり糸・トリガーを 40 cm・50 cm以上に指導・推奨
- ・ 幼獣・成獣での報奨金設定に差をつける
- ・ ICT 利用の大型囲いわなの導入

被害状況に応じた捕獲場所の設定

第二種特定鳥獣管理計画の改訂作業で検討対象としているか

10/34□している ・ 21/34□していない ・ 3/34 無回答

第二種特定鳥獣管理計画に書き込むことで期待すること（回答例：市町村の有害鳥獣捕獲許可の許可範囲に反映される）

- ・ 市町村が定める計画に反映
- ・ 認識を市町村担当者に浸透
- ・ 市町村の有害鳥獣捕獲許可範囲に反映

貴都府県内ですでに取り組んでいる事例

6/34□有 ・ 22/34□無 ・ 6/34 無回答

「有」の場合、

- ・ 緩衝帯整備と連動した捕獲の強化
- ・ 農地周辺で自衛の箱わなについて、無免許者に条件付き有害捕獲許可

分布拡大抑制に関する対応

第二種特定鳥獣管理計画の改訂作業で検討対象としているか

10/34口している ・ 21/34口していない ・ 3/34 無回答

第二種特定鳥獣管理計画に書き込むことで期待すること（回答例：関係機関の意識付けが促進される）

分布の先端地域及び生息していない地域での注意喚起が図られる。

市町村が定める計画に反映され、適切な対策が導入され、分布拡大が抑制されることを期待する。

貴都府県内ですでに取り組んでいる事例

10/34口有 ・ 19/34口無 ・ 5/34 無回答

「有」の場合、

- ・ 指定管理鳥獣捕獲等事業により、捕獲を優先的に実施。
- ・ 生息分布の拡大のおそれがある市町に、捕獲頭数に限らず一定額の捕獲経費を市町に補助

市街地出没抑制に関する対応

第二種特定鳥獣管理計画の改訂作業で検討対象としているか

7/34口している ・ 23/34口していない ・ 4/34 無回答

第二種特定鳥獣管理計画に書き込むことで期待すること（回答例：関係機関の意識付けが促進される）

- ・ 関係機関の意識付けが促進される。
- ・ イノシシが出没しづらい環境づくりが促進される。

貴都府県内ですでに取り組んでいる事例

8/34口有 ・ 20/34口無 ・ 6/34 無回答

「有」の場合、

- ・ 各市町で市街地出没時の連絡体制を整備

その他（具体的内容： ）②での記述があれば

第二種特定鳥獣管理計画の改訂作業で検討対象としているか

4/34口している ・ 8/34口していない

第二種特定鳥獣管理計画に書き込むことで期待すること

- ・イノシシ管理には地域ぐるみで取り組むことが有効であるとの認識が、市町村の担当者等に浸透
- ・狩猟者や認定事業者など、新たな捕獲担い手の確保。

貴都府県内ですでに取り組んでいる事例

4/34口有 ・ 8/34口無

「有」の場合、

- ・町会単位での捕獲を制度化
- ・銃猟免許取得者確保のため研修会を開催。

今後の保護管理レポートに期待すること

④その他、環境省から都道府県に向けて情報提供を行う保護管理レポートについて、改善点や今後取り上げて欲しい項目等の要望がありましたら記述して下さい。

- ・ 生息密度が低い段階にある生息域拡大地域における効果的な捕獲方法の先行事例について
- ・ 指定管理鳥獣捕獲等事業を活用した捕獲効率を高める事業の紹介
- ・ 特定計画の目標達成状況、また、達成できた県がある場合はその要因について紹介。
- ・ モデル事業でも良いので、背景・経緯を含め、成功事例を詳しく紹介。
- ・ 改定後の「特定計画評価指標」や「目標捕獲数の設定の有無」について
- ・ 捕獲後の処分の方法について
- ・ 生息地管理（山際の刈り払い、人工林の徐間伐）や農作物被害対策（防護柵の設置、誘引物の除去）とセットで行う捕獲の重要性（捕獲効率の向上効果等）について
- ・ イノシシについては生息頭数の推定が困難である理由
- ・ 技術的な内容だけでなく、「地域ぐるみ」の対策を行う際の地域をまとめるポイントや、成功例（○の農作物被害が△△まで低減、農業収入が□□向上）など
- ・ 市街地出没時における安全な捕獲方法等の対応事例

イノシシの保護及び管理に関するレポートで示してきた管理の方針

【農作物被害軽減のための捕獲】

(平成 24・25 年度)

http://www.env.go.jp/nature/choju/plan/plan3-report/h24report_inoshishi.pdf

http://www.env.go.jp/nature/choju/plan/plan3-report/h25report_inoshishi.pdf

- 農作物被害を効果的に軽減させるために、農地（集落）周辺における許可捕獲を検討することが重要です。
 - 農作物被害軽減のため効率よく加害個体を捕獲する方法
 - 農地（集落）から数百メートル以内で捕獲する
 - 成獣メスを優先的に捕獲する
 - 群れごと捕獲する（完全に餌付いたら捕獲を開始する）
- 「農地（集落）周辺での捕獲」と「成獣の捕獲」が適切に実施されているか評価するためには、特定項目の情報収集と分析が必要です。
 - 農地（集落）周辺での捕獲を評価・・・捕獲地点（メッシュ単位ではなく地点）、または選択式による捕獲者の申告（例 1：「農地（集落）周辺」か「農地（集落）から離れた場所」、例 2：「林縁から 200 m 以内」か「林縁から 200 m より離れている」）
 - 成獣の捕獲を評価・・・体重または、体毛の模様（ウリ模様の有無）など
- 特定計画の策定を担う都府県が許可捕獲の実施状況を把握するためには、市町村との役割分担や情報共有が重要です。（許可捕獲の捕獲位置、頭数の把握、統一様式の使用）

【分布拡大抑制】

(平成 26 年度)

http://www.env.go.jp/nature/choju/plan/plan3-report/h26report_inoshishi.pdf

- 分布拡大初期における分布・被害情報の把握には、痕跡を識別できる人材の育成、情報収集システムの構築が必要です。
- 分布情報・捕獲情報から生息状況を診断し、適切な対応を行うには、メスに集中的に捕獲圧をかける地域を設定する等が必要です。

【市街地出没抑制】

(平成 27 年度)

http://www.env.go.jp/nature/choju/plan/plan3-report/h27report_inoshishi.pdf

- 市街地出没パターンを理解する。
- 出没パターンに応じた適切な出没抑制対策を実施する。
- 出没パターンに応じた適切な対応方針や対応体制を整備する。

(参考) アンケート回答結果クロス集計など

表1 イノシシの管理の方針（「成獣の捕獲」「加害個体の優先的捕獲」）の重要性の認識に関するアンケート回答と計画記載状況

アンケート回答と計画記載状況	管理の方針	
	被害地周辺における加害個体の捕獲	成獣の捕獲
アンケートで“認識”と回答 計画に記載あり	18	2
アンケートで“認識”と回答 計画に記載なし	3	20
アンケートで“認識”と回答 計画未策定	0	2
アンケートで“認識なし”と回答 計画に記載あり	7	0
アンケートで“認識なし”と回答 計画に記載なし	4	10
アンケートで“認識なし”と回答 計画未策定	2	0
アンケート回答無し	13	13

表2 イノシシの管理の方針（「成獣の捕獲」「加害個体の優先的捕獲」）の重要性の認識に関するアンケート回答と次期計画の検討状況

認識の状況と次期計画での検討	管理の方針	
	被害地周辺における加害個体の捕獲	成獣の捕獲
アンケートで“認識”と回答 次期計画の検討対象としている	10	10
アンケートで“認識”と回答 次期計画の検討対象としてない	11	11
アンケートで“認識”と回答 検討対象とするか未定	0	1
アンケートで“認識”と回答 計画未策定	0	2
アンケートで“認識なし”と回答 次期計画の検討対象としている	0	0
アンケートで“認識なし”と回答 次期計画の検討対象としてない	10	10
アンケートで“認識なし”と回答 検討対象とするか未定	1	0
アンケートで“認識なし”と回答 計画未策定	2	0
アンケート回答無し	13	13

表3 イノシシの管理の方針（「分布拡大抑制に関する対応」）の重要性の認識に関するアンケート回答と次期計画の検討状況

認識の状況と次期計画での検討	回答数
アンケートで“認識”と回答 次期計画の検討対象としている	10
アンケートで“認識”と回答 次期計画の検討対象としてない	7
アンケートで“認識”と回答 計画未策定	1
アンケートで“認識なし”と回答 次期計画の検討対象としている	0
アンケートで“認識なし”と回答 次期計画の検討対象としてない	14
アンケートで“認識なし”と回答 検討対象とするか未定	1
アンケートで“認識なし”と回答 計画未策定	1
アンケート回答無し	13

表4 イノシシの管理の方針（「市街地出没抑制に関する対応」）の重要性の認識に関するアンケート回答と次期計画の検討状況

認識の状況と次期計画での検討	回答数
アンケートで“認識”と回答 次期計画の検討対象としている	7
アンケートで“認識”と回答 次期計画の検討対象としてない	7
アンケートで“認識”と回答 計画未策定	1
アンケートで“認識なし”と回答 次期計画の検討対象としている	0
アンケートで“認識なし”と回答 次期計画の検討対象としてない	17
アンケートで“認識なし”と回答 検討対象とするか未定	1
アンケートで“認識なし”と回答 計画未策定	1
アンケート回答無し	13